

EU



1 農・畜産業の概況

EUは、加盟国（2013年時点 28カ国）全体で1億7582万ヘクタールの農用地面積を有し、農業経営体数は1224万8150戸、1戸当たり農用地面積は14.0ヘクタールである（表1）。

2013年のGDPのうち、農林水産業の占める割合は前年並みの1.7%であった。

2013年の農業生産額は、4088億5870万ユーロ

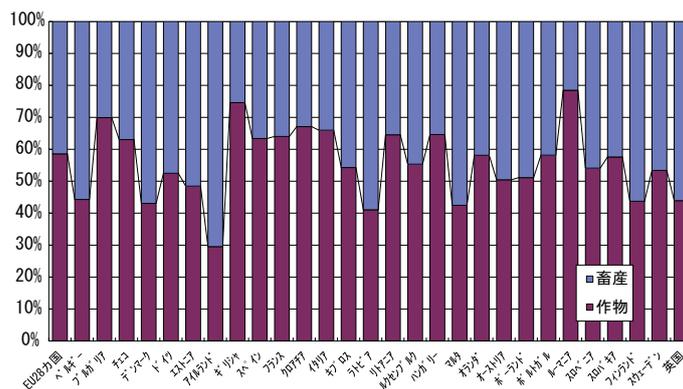
と前年を0.7%上回った。このうち、約40%に相当する1694億3880万ユーロを畜産が占めており、EU農業の主要部門となっている（図1）。畜産の内訳を見ると、生乳が575億7060万ユーロ（農業全体の約14%）、牛肉・子牛肉が327億6740万ユーロ（同約8%）、豚肉が373億5150万ユーロ（同約9%）、卵・家きんが301億790万ユーロ（同約7%）である。

表1 主要農業経済指標

国名/区分	農用地面積 (千ヘクタール)	農業労働人口 (千人)	農業経営体数 (千戸)	1戸当たり農用 地面積 (ヘクタール)	農業生産額 (百万ユーロ)
	2010年	2010年	2010年	2010年	2013年
ベルギー	1,358	64	43	32	8,531
デンマーク	2,647	73	42	63	11,881
ドイツ	16,704	658	299	56	53,314
ギリシャ	5,178	513	723	7	10,295
スペイン	23,753	755	990	24	43,759
フランス	27,837	753	516	54	73,597
アイルランド	4,991	83	140	36	7,458
イタリア	12,856	965	1,621	8	49,931
ルクセンブルク	131	-	2	60	461
オランダ	1,872	226	72	26	27,298
オーストリア	2,878	202	150	19	7,023
ポルトガル	3,668	520	305	12	6,542
フィンランド	2,291	114	64	36	4,836
スウェーデン	3,066	92	71	43	6,299
英国	16,882	408	187	90	29,421
チェコ	3,484	152	23	152	4,882
エストニア	941	26	20	48	876
キプロス	118	18	39	3	736
ラトビア	1,796	75	83	22	851
リトアニア	2,743	116	200	14	2,787
ハンガリー	4,686	291	577	8	7,535
マルタ	11	5	13	1	130
ポーランド	14,447	2,036	1,507	10	22,538
スロベニア	483	79	75	6	1,170
スロバキア	1,896	71	25	77	2,245
ブルガリア	4,476	677	371	12	3,862
ルーマニア	13,306	2,962	3,859	3	18,160
クロアチア	1,316	-	233	6	2,442
EU 28カ国	175,815	11,935	12,248	14	408,859

資料：欧州委員会「Agriculture, forestry and fishery statistics 2014 edition」

図1 農業生産額に占める畜産のシェア（2013年）



資料：欧州委員会「Eurostat」

2 畜産の動向

(1) 酪農・乳業

2013年のEU（加盟28カ国）の生乳生産量は、全世界（約7億7339万トン：FAO）の約20%を占めた。これは、単一国としては世界最大となる米国の生産量の約1.7倍に相当する。EUは、牛乳・乳製品の自給率が111%で純輸出国となり、国際乳製品市場に大きな影響力を持っている。

2013年のEUの世界の乳製品貿易量に占める割合は、チーズが47%（USDA）となり、引き続き主要輸出品となっている。また、バターや脱脂粉乳は、それぞれ16%、24%となっており、前年と同程度であった。

2013年は、世界的な乳製品需要の高まりを背景に前年に引き続き輸出環境は好調となった。供給が前年比約3%増加したにもかかわらず、国際乳製品価格は年間を通して堅調に推移し、これに伴い乳価も上昇した。

生乳生産量は、前年比約0.4%増となり、チーズは同0.4%増、バターは同1.0%減となった。一方、域内消費量は、前年と同程度であった。

① 主要な政策

ア 生乳生産割当（クォータ）制度

EUは、国ごとに生乳生産割当枠（クォータ）を定め、クォータを超過した場合、100キログラム当たり27.83ユーロの課徴金が課している。また、加盟国間でのクォータの譲渡は認められていない一方、国内の農家間でクォータの売買、貸し借り、国による買い上げと再配分などができることとなっている。

なお、この制度は、2008年11月に合意した「ヘルスチェック」（共通農業政策（CAP）の中間検証作業）に基づき、2015年3月末での廃止が決定している。

イ 乳製品の介入買い入れ

EUは、バターおよび脱脂粉乳の介入買い入れを通じて乳製品の価格支持により、間接的に生乳価格を支持している。介入価格は、2003年のCAP改革に基づき、バターは2004年以降4年間で25%、脱脂粉乳は同3年間で15%、それぞれ段階的に引き下げられたが、2008年9月以降さらに約3%引き下げられている。バターは、3月1日～9月30日の間、市場価格が介入価格（100キログラム当たり221.75ユーロ）を下回った場合、加盟国の介入機関を通じて一定規格のものを買い入れる。なお、CAP改革により、介入買入限度数量が新たに設定され、2004年に7万トン、その後毎年1万トンずつ削減し、2008年に3万トンまで削減された。買入限度数量に達した場合は、入札により買い入れが実施できることとなっている。

また、脱脂粉乳は、3月1日～9月30日の間、加盟国の介入機関が介入価格（100キログラム当たり169.80ユーロ）で一定規格のものを買い入れる。なお、当該年の介入買入数量が10万9000トンに達した場合、入札により買い入れが実施できることとなっている。なお、2014年以降、この他にバター、脱脂粉乳およびチーズを対象に、大幅な価格の下落など欧州委員会が必要と認めた場合に、民間在庫補助が行われる仕組みが新たに設けられている。

ウ 輸出補助金

EUには、乳製品の国際競争力を高め、輸出を促進するため、チーズ、バター、脱脂粉乳などの輸出に対して輸出補助金を交付する制度がある。輸出補助金の単価は、域内の市場価格と国際価格との差に基づき、品目ごと、輸出先ごとに販売・輸送コストなどを勘案して設定される。なお、2010年以降は、全ての乳製品で輸出補助金の発動はない。

エ 域内消費の促進

乳製品に関連した補助として、牛乳の学校給食用消費に対する補助などが行われている。

②生乳の生産動向

ア 酪農経営体数

EUの酪農経営体数は、大規模化などを背景として小

規模層を中心に減少傾向にあり、2010年には174万戸となった。2007年の249万戸と比較すると、3年間で30%以上減少している（表2）。

表2 酪農経営体数、乳用経産牛飼養頭数および1戸当たり飼養頭数の推移

(単位：千戸、千頭、頭/戸、%)

区分/年	2010	2011	2012	2013	増減率
酪農経営体数	1,742	-	-	-	-
経産牛飼養頭数	23,314	23,051	23,204	23,507	1.0
1戸当たり経産牛飼養頭数	13.4	-	-	-	-

資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union - Market Statistical Information 2014」

注1：飼養頭数は、12月末現在のもの。

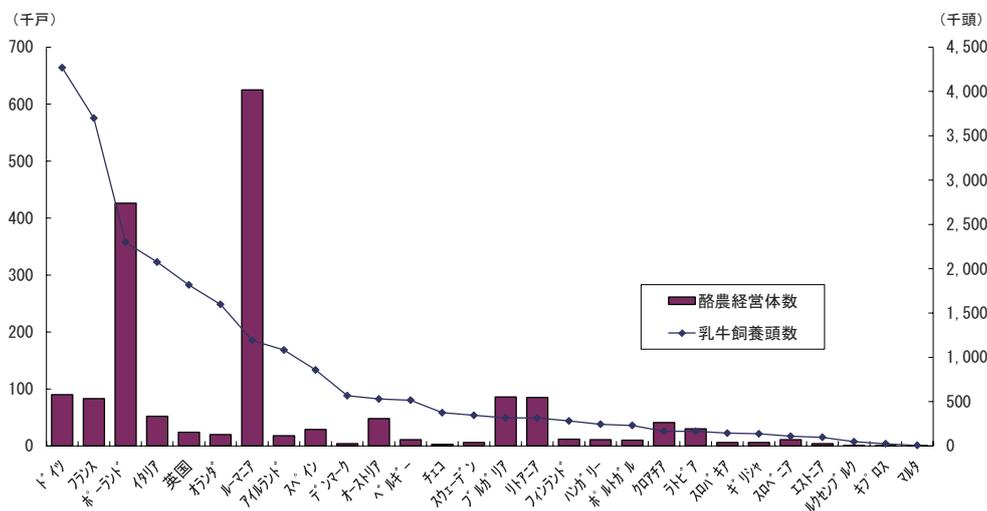
2：EU 28カ国のデータ。

イ 飼養頭数

2013年12月現在の乳用経産牛飼養頭数は、2351万頭と前年同水準となり、減少傾向に歯止めがかかった。これは、2015年3月末の生乳クォータ制度の廃止を前に、生乳の増産意欲が高まっていることが要因とみられている。

2010年の1戸当たり乳用経産牛飼養頭数は13.4頭で、2007年の9.8頭から増加した。最も飼養規模の大きいデンマークが同109頭であるのに対し、2007年に加盟したブルガリア、ルーマニアはそれぞれ同2.9頭、同1.6頭であり、加盟国間でも差は大きい（図2）。

図2 酪農経営体数（2010年）および乳牛飼養頭数（2013年12月）



資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union - Market Statistical Information 2014」
「Agriculture in the European Union - Statistical and economic Information 2013」

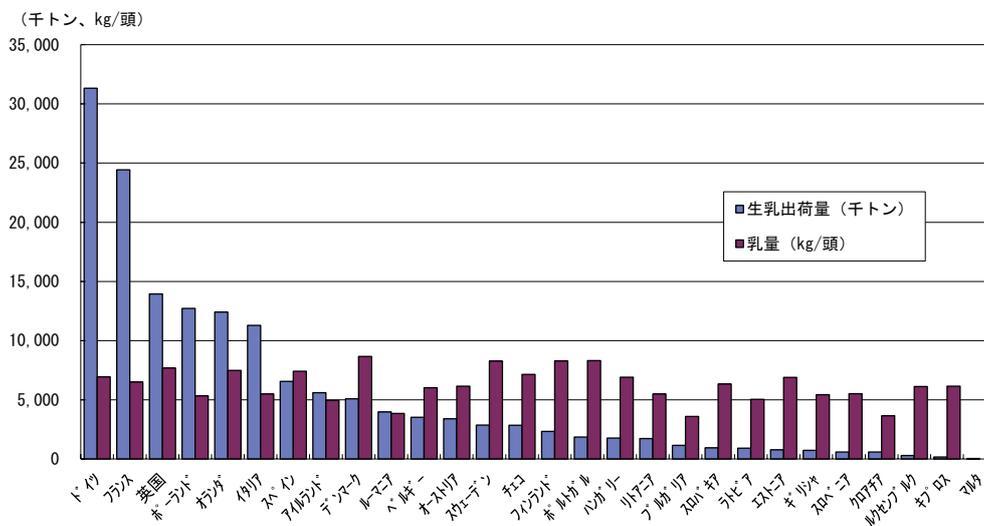
ウ 経産牛1頭当たり乳量

2013年の経産牛1頭当たり乳量は、前年比8.4%減の6057キログラムとなった。ただし、加盟国間での差は大きく、第1位のデンマークの8660キログラム(前年比2.8%増)、第2位のポルトガルの8310キログラム(同0.1%減)に対し、下位にある旧東欧圏のブルガリア、ルーマニアはそれぞれ3588キログラム(同0.2%減)、3850キログラム(同10.5%増)と大きな開きがある。

エ 生乳出荷量

2013年の生乳出荷量は、1億5380万トンとなった。国別では、ドイツが3000万トン、フランスで2000万トン、英国、ポーランド、オランダ、イタリアでは1000万トンを超えており、これら6カ国でEU全体の生産量の約7割を占める(図3)。

図3 生乳出荷量および経産牛1頭当たり乳量(2013年)



資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union - Market Statistical Information 2014」

③牛乳・乳製品の需給動向

ア 飲用乳

2013年の飲用乳生産量（販売量）は3319万5000トンとなり、1人当たり年間飲用乳（乳飲料、ヨーグルトなどを含む）消費量は、平均で65.0キログラムと前年同となっている（表3）。

表3 1人当たり年間飲用乳消費量の推移

(単位：kg/人、%)

国/年	2009	2010	2011	2012	2013	増減率
ベルギー	53.2	53.8	51.6	50.5	49.3	▲ 2.4
ブルガリア	6.9	8.2	8.3	-	-	-
チェコ	60.0	57.5	52.6	58.5	59.5	1.7
デンマーク	90.1	91.1	88.4	89.6	88.3	▲ 1.5
ドイツ	52.2	52.3	53.5	53.2	53.9	1.3
ギリシャ	68.1	69.7	69.1	-	-	-
エストニア	-	-	107.1	105.3	117.4	11.5
スペイン	90.5	84.1	84.0	83.2	83.6	0.5
フランス	65.2	55.6	55.8	54.2	54.0	▲ 0.4
アイルランド	139.0	141.5	142.3	142.3	142.3	0.0
イタリア	57.9	56.8	57.2	55.7	53.8	▲ 3.4
クロアチア	73.5	69.8	78.4	73.5	63.6	▲ 13.5
ラトビア	-	-	94.8	94.8	94.8	0.0
リトアニア	-	-	28.5	29.4	32.0	8.8
ハンガリー	58.9	51.1	48.6	50.6	50.5	▲ 0.2
オランダ	51.0	50.0	49.0	49.0	49.0	0.0
オーストリア	79.7	78.7	79.6	78.2	76.9	▲ 1.7
ポーランド	43.8	43.7	42.4	42.2	42.2	0.0
ポルトガル	84.2	80.8	80.3	81.0	-	-
ルーマニア	100.1	100.1	100.1	-	-	-
スロバキア	49.7	54.9	52.2	54.9	48.1	▲ 12.4
フィンランド	135.7	132.5	131.1	132.4	131.4	▲ 0.8
スウェーデン	99.6	97.3	91.8	91.9	92.3	0.4
英国	104.4	108.0	107.4	106.3	105.4	▲ 0.8
EU 27 各国 / EU 28 各国	65.1	65.4	65.5	65.0	65.0	0.0

資料：AMI「Market Review Dairy 2015」

注1：2013年は暫定値。

注2：2009年から2012年まではEU27カ国。2013年はEU28カ国。

イ バター

EUは、インドに次ぐ世界第2位のバター生産地域であり、世界のバター生産量（2013年約899万トン：USDA）の約20%を占める。

2013年のバター生産量（バターオイルを含む）は、前年比1.0%減の209万トンとなった。これは、生乳生産量の増加に加え、域内需要の高まりなどによる。

2013年のEU域外輸出量は、前年比0.8%増の12万8000トンとなった。主な輸出先は、ロシアやイラン、モロッコである。一方、域外からの輸入量は4万2000トンであった（表4、図4）。

表4 バター需給の推移

(単位：千トン、%)

区分/年	2009	2010	2011	2012	2013		増減率
生産量	2,040	2,030	2,070	2,105	2,090	(2,085)	▲ 1.0
うち乳業工場	1,954	1,944	2,047	2,078	2,069	(2,064)	▲ 0.7
農家	86	86	23	27	21	(21)	▲ 22.2
輸入量	62	38	45	44	42	(42)	▲ 4.5
輸出量	149	156	126	127	128	(128)	0.8
在庫量(12月末)	135	50	80	100	100	(100)	0.0
域内消費量	1,968	1,997	1,959	2,002	2,004	(1,999)	▲ 0.1
1人当たり消費量(kg)	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	(4.0)	0.0

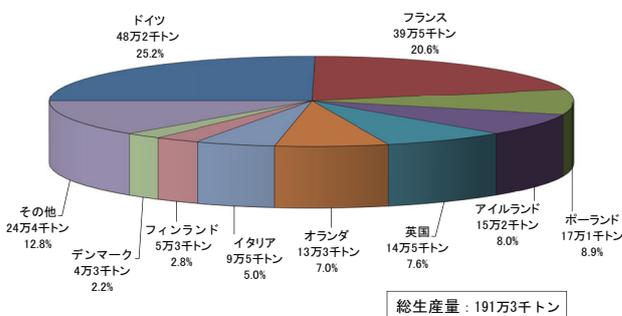
資料：AMI「Market Review Dairy 2014」、「Market Review Dairy 2015」

注1：生産量にはバターオイルを含む。

注2：2013年は暫定値。

注3：2009年から2012年まではEU27カ国。2013年はEU28カ国。2013年の括弧書き内の数値はEU27カ国。増減率はEU27カ国の数値で比較。

図4 バターの国別生産量（2013年）



資料：AMI「Market Review Dairy 2015」

注1：EU28カ国

注2：生産量にはバターオイルを含まない。

1人当たりバター消費量は、健康への関心の高まりにより90年代から減少傾向にあったが、2013年は、前年同の4.0キログラムとなった。国別では、フランス（7.9キログラム）、ドイツ（6.1キログラム）での消費が多いが、マーガリンやデリースプレッドの消費が多いデンマーク（1.8キログラム）などの北欧各国や、オリーブ油など植物油脂の消費が多いイタリア（2.4キログラム）などでは少なくなっている（表5）。

表5 1人当たりバター消費量の推移

(単位：kg / 人、%)

国/年	2009	2010	2011	2012	2013	増減率
ベルギー	2.4	2.4	2.4	2.5	2.3	▲ 8.0
ブルガリア	0.5	0.5	0.5	0.5	-	-
チェコ	5.0	4.9	4.9	5.2	4.9	▲ 5.8
デンマーク	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	0.0
ドイツ	5.8	5.9	6.3	6.3	6.1	▲ 3.2
ギリシャ	0.8	0.8	0.7	-	-	-
エストニア	5.5	4.3	4.1	3.2	1.7	▲ 46.9
スペイン	0.5	0.5	0.5	0.6	0.5	▲ 16.7
フランス	7.9	7.6	7.6	7.4	7.9	6.8
アイルランド	2.5	2.4	2.4	2.4	2.4	0.0
イタリア	2.5	2.3	2.3	2.3	2.4	4.3
クロアチア	1.2	1.0	0.6	1.0	1.0	0.0
ラトビア	-	-	2.8	2.8	2.8	0.0
リトアニア	-	-	2.2	2.8	2.6	▲ 7.1
ハンガリー	1.0	1.0	0.9	1.0	1.0	0.0
オランダ	3.7	3.0	3.0	3.0	3.0	0.0
オーストリア	4.9	5.1	5.0	5.0	5.3	6.0
ポーランド	4.4	4.2	4.2	4.1	4.1	0.0
ポルトガル	1.6	1.7	1.8	-	-	-
ルーマニア	0.8	0.8	0.7	-	-	-
スロバキア	2.8	2.6	2.6	2.9	3.2	10.3
フィンランド	3.1	3.4	4.1	4.5	3.7	▲ 17.8
スウェーデン	1.8	1.6	2.6	3.0	2.2	▲ 26.7
英国	3.0	3.2	3.1	3.4	3.3	▲ 2.9
EU 27 各国 / EU 28 各国	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	0.0

資料：AMI「Market Review Dairy 2015」

注1：2013年は暫定値。

2：2009年から2012年まではEU27カ国。2013年はEU28カ国。

ウ 脱脂粉乳

EUは、世界最大の脱脂粉乳生産地域であり、世界の生産量（2013年約391万トン：USDA）の約30%を占める。

2013年の脱脂粉乳生産量は、前年比4.5%増の126万7000トンと増加した。一方、消費量は、前年並みの86万5000トンであった。

2013年のEU域外輸出量は、前年比21.9%減の40万7000トンと減少した。主な輸出先は、地理的に近いアルジェリアやナイジェリアなどのアフリカ諸国、また、インドネシアやベトナムなどの東南アジアであるが、中国向けが大幅に増加している（表6、図5）。

表6 脱脂粉乳需給の推移

(単位：千トン、%)

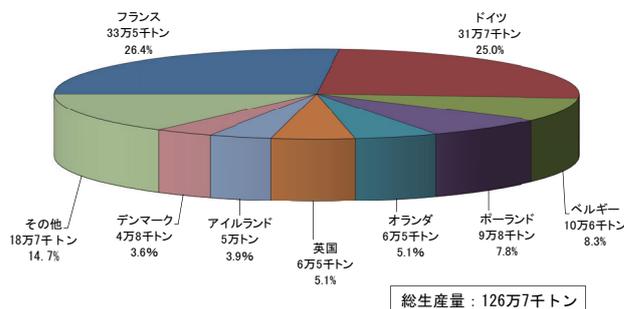
区分/年	2009	2010	2011	2012	2013		増減率
生産量	1,163	1,124	1,261	1,212	1,267	(1,267)	4.5
輸入量	6	4	0	2	5	(6)	200.0
輸出量	231	379	518	524	407	(409)	▲ 21.9
介入在庫量(12月末)	260	195	50	0	0	(0)	-
域内消費量	798	842	851	785	865	(864)	10.1

資料：AMI「Market Review Dairy 2014」,「Market Review Dairy 2015」

注1：2013年は暫定値。

2：2009年から2012年まではEU27カ国。2013年はEU28カ国。2013年の括弧書き内の数値はEU27カ国。増減率はEU27カ国の数値と比較。

図5 脱脂粉乳の国別生産量（2013年）



資料：AMI「Market Review Dairy 2015」

注：EU28カ国

エ チーズ

EUは、世界最大のチーズ生産地域であり、世界の生産量（2013年約1762万トン：USDA）の約54.0%を占める。チーズ生産量は、生乳生産の増加や東欧諸国の消費拡大により域内需要が堅調に推移していること、また、域外輸出が好調であることから増加傾向で推移している（表7）。

表7 チーズ需給の推移

(単位：千トン、%)

区分/年	2009	2010	2011	2012	2013		増減率
生産量	9,282	9,242	9,226	9,441	9,512	(9,479)	0.4
うち乳業工場(生乳原料)	8,328	8,452	8,441	8,611	8,707	(8,674)	0.7
農家(生乳原料)	110	105	105	105	105	(105)	0.0
その他(生乳原料)	650	685	680	725	700	(700)	▲ 3.4
輸入量	84	78	73	76	75	(74)	▲ 2.6
輸出量	578	676	682	778	788	(799)	2.7
域内消費量	8,844	8,879	8,862	8,969	9,038	(8,995)	0.3
1人当たり消費量(kg)	17.8	17.8	17.7	17.9	17.9	(17.9)	0.0

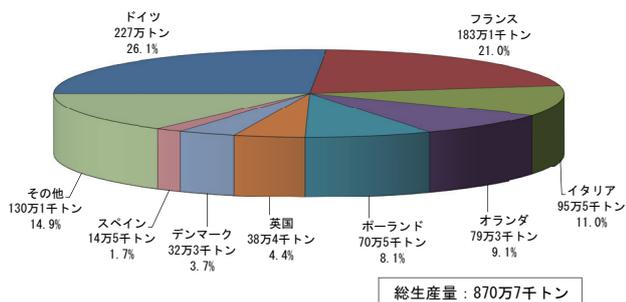
資料：AMI「Market Review Dairy 2014」,「Market Review Dairy 2015」

注1：2013年は暫定値。

2：2009年から2012年まではEU27カ国。2013年はEU28カ国。2013年の括弧書き内の数値はEU27カ国。増減率はEU27カ国の数値と比較。

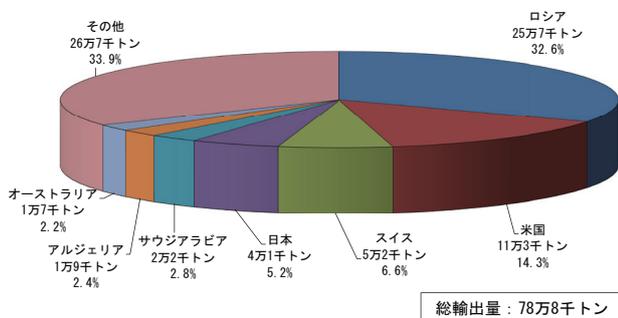
2013年の生産量は、前年と同水準の951万2000トンとなった。このうち主に生乳を原料として乳業工場で製造されるものは870万7000トンとなっている(表7、図6)。2013年のEU域外輸出量は、前年比2.7%増の78万8000トンとなった。主な輸出先はロシア(25万7000トン)、米国(11万2900トン)、スイス(5万1800トン)、日本(4万0800トン)となっている(図7)。

図6 チーズの国別生産量(2013年)



資料：AMI「Market Review Dairy 2015」
 注1：主に生乳を原料として乳業工場で製造されるものに限る。
 2：EU28カ国

図7 チーズの国別輸出量(2013年)



資料：AMI「Market Review Dairy 2015」
 注1：主に生乳を原料として乳業工場で製造されるものに限る。
 2：EU28カ国

2013年のチーズ消費量は903万8000トンで、1人当たり年間消費量は17.9キログラムであった。チーズの消費量は加盟国間でかなりの差があり、フランス(1人当たり年間25.9キログラム)、フィンランド(同24.7キログラム)、ドイツ(同24.3キログラム)などが多い一方、スペイン(同9.5キログラム)、アイルランド(同6.9キログラム)、などが少ない(表8)。

表8 1人当たりチーズ消費量の推移

(単位：kg/人、%)

国/年	2009	2010	2011	2012	2013	増減率
ベルギー	15.6	16.0	15.3	15.3	15.0	▲2.0
ブルガリア	5.6	5.6	5.6	-	-	-
チェコ	16.7	16.5	16.2	16.6	16.0	▲3.6
ドイツ	22.9	23.5	24.3	24.3	24.3	0.0
ギリシャ	31.0	30.9	27.7	-	-	-
エストニア	18.9	19.6	20.8	21.4	21.7	1.4
スペイン	8.4	9.5	9.5	9.3	9.5	2.2
フランス	27.1	26.6	26.3	26.2	25.9	▲1.1
アイルランド	6.3	7.3	6.9	6.9	6.9	0.0
イタリア	21.0	21.1	22.3	21.4	20.7	▲3.3
クロアチア	7.1	8.7	7.7	9.6	10.2	6.3
ラトビア	-	-	14.3	16.0	16.0	0.0
リトアニア	-	-	16.1	17.5	20.1	14.9
ハンガリー	11.0	11.5	11.0	11.5	11.0	▲4.3
オランダ	19.0	19.5	18.5	18.6	18.6	0.0
オーストリア	19.1	19.4	19.9	20.5	20.0	▲2.4
ポーランド	10.8	11.3	11.4	11.4	11.4	0.0
ポルトガル	10.2	9.5	9.6	9.6	-	-
ルーマニア	5.0	5.0	5.0	-	-	-
スロベニア	9.3	9.2	9.3	-	-	-
スロバキア	9.5	10.0	10.3	10.1	11.2	10.9
フィンランド	20.9	21.4	22.5	23.7	24.7	4.2
スウェーデン	18.7	18.9	19.0	19.7	19.8	0.5
英国	10.9	11.3	11.0	11.4	11.6	1.8
EU 27カ国 / EU 28カ国	17.8	17.8	17.7	17.9	17.9	0.0

資料：AMI「Market Review Dairy 2015」
 注1：2013年は暫定値。
 2：2009年から2012年まではEU27カ国。2013年はEU28カ国。

④生乳および牛乳・乳製品の価格動向

ア 生乳生産者価格

生乳生産者価格は、2007年後半以降の旺盛な国際乳製品需要を受けて急騰したが、2008年9月以降、いわゆるリーマンショックに端を発した景気後退を背景に需要が大きく落ち込んだことで急落した。その後、国際需要の高まりにより上昇基調で推移し、2013年は、100キログラム当たり35.9ユーロ(前年比12.2%高)となった(表9)。

表9 生乳生産者価格

(単位：ユーロ/100kg、%)

国/年	2009	2010	2011	2012	2013	増減率
ベルギー	23.67	30.47	33.11	30.19	37.22	23.3
デンマーク	27.53	31.94	35.67	34.04	38.63	13.5
ドイツ	24.08	30.83	34.83	31.99	37.51	17.3
ギリシャ	37.69	37.30	43.16	45.08	44.42	▲1.5
スペイン	29.18	29.38	31.29	30.89	34.31	11.1
フランス	26.61	29.17	31.71	30.51	33.39	9.4
アイルランド	24.73	30.83	34.33	32.29	38.31	18.6
イタリア	31.33	34.11	38.43	37.31	39.61	6.2
オランダ	26.77	31.46	36.88	33.80	39.45	16.7
オーストリア	27.69	30.33	34.03	32.49	36.13	11.2
ポルトガル	29.31	28.98	31.42	32.00	34.78	8.7
フィンランド	38.94	39.41	42.63	44.91	45.90	2.2
スウェーデン	26.17	33.68	37.87	35.76	39.60	10.7
英国	25.84	27.90	30.64	33.63	36.19	7.6
EU 15 各国	26.30	30.50	34.00	32.80	36.90	12.5
チェコ	22.56	28.54	32.63	29.64	31.80	7.3
エストニア	21.06	27.74	32.26	30.04	33.81	12.5
キプロス	51.08	51.26	52.07	52.69	57.52	9.2
ラトビア	18.66	25.11	29.35	27.63	30.57	10.6
リトアニア	15.71	21.69	24.90	22.91	27.40	19.6
ハンガリー	21.87	26.20	31.34	30.43	30.43	0.0
ポーランド	20.20	25.71	28.51	27.83	30.85	10.9
スロベニア	25.90	26.85	30.47	30.14	32.30	7.2
スロバキア	21.08	27.51	31.64	29.63	32.79	10.7
ブルガリア	25.37	27.62	32.66	30.54	33.67	10.2
ルーマニア	20.68	21.56	24.78	24.08	26.38	9.6
クロアチア	-	-	33.43	32.69	34.20	4.6
EU 27 各国	25.60	29.90	33.20	32.00	35.90	12.2

資料：AMI「Market Review Dairy 2015」

注1：3.7%脂肪分のもの。ただし、2010年以降は4.0%脂肪分のもが一部含まれる。

注2：EU 27 各国はクロアチアを含まない。

イ 飲用乳小売価格

2013年の飲用乳の価格は、前年とほぼ同じ水準で推移した。一例として、ドイツの価格を見ると、全脂乳(乳脂肪3.5%以上)の小売価格は、1リットル当たり1.01ユーロ(前年比6.3%高)であった(表10)。

表10 ドイツの生乳小売価格の推移

(単位：ユーロ/100kg、%)

区分/年	2009	2010	2011	2012	2013	増減率
全脂乳 (乳脂肪1.6%~ 3.5%)	0.57	0.61	0.63	0.60	0.70	16.7
全脂乳 (乳脂肪3.5%以上)	0.89	0.89	0.93	0.95	1.01	6.3
UHT牛乳 (乳脂肪1.5%以下)	0.48	0.52	0.55	0.52	0.62	19.2

資料：AMI「Market Review Dairy 2015」

ウ バター卸売価格

2013年のバター卸売価格(工場渡しまたは倉庫渡し)は、バター生産の減少の中、輸出量が増えて需給が逼迫したことで、主要国ではいずれも前年を上回った(表11)。

表11 主要国のバター卸売価格

(単位：ユーロ/kg、%)

国/年	2009	2010	2011	2012	2013	増減率
フランス	2.41	3.34	3.96	3.07	4.00	30.3
ドイツ	2.55	3.46	3.97	3.06	3.95	29.1
オランダ	2.48	3.46	3.94	3.02	3.91	29.5
英国	2.62	3.63	4.04	3.14	3.99	27.2
イタリア	2.58	3.34	3.81	2.94	3.83	30.3
ベルギー	2.57	3.38	3.91	3.07	3.97	29.3

資料：AMI「Market Review Dairy 2015」

注：工場渡しまたは倉庫渡しの価格で付加価値税は含まない。

エ 脱脂粉乳卸売価格

2013年の脱脂粉乳卸売価格（工場渡し）は、バター同様、主要国で前年を上回った（表12）。

表12 主要国の脱脂粉乳卸売価格

（単位：ユーロ/kg、%）

国/年	2009	2010	2011	2012	2013	増減率
ドイツ	1.54	1.99	2.17	2.20	2.91	32.3
フランス	1.80	2.18	2.44	2.37	3.05	28.7
オランダ	1.76	2.17	2.39	2.33	3.03	30.0
ベルギー	1.83	2.21	2.45	2.41	3.11	29.0

資料：AMI「Market Review Dairy 2015」

注：工場渡しまたは倉庫渡しの価格で付加価値税は含まない。

オ チーズ卸売価格

2013年のチーズ卸売価格（工場渡し）は、その他の品目と同様に需給がひっ迫したことで、主要国ではイタリアを除き、前年を上回った（表13）。

表13 主要国のチーズ卸売価格

（単位：ユーロ/kg、%）

国・区分/年	2009	2010	2011	2012	2013	増減率
ドイツ						
エダム 45%	2.49	3.13	3.42	-	-	-
エメンタール 45%	4.63	4.80	5.01	4.96	5.33	7.5
英国						
チェダー	2.93	3.26	3.42	3.61	3.90	8.1
イタリア						
グラナ・パダーノ	6.33	7.22	8.84	8.82	8.29	▲6.0
ポーランド						
エメンタール	2.77	3.31	3.44	3.36	3.72	10.7

資料：AMI「Market Review Dairy 2015」

注：工場渡しまたは倉庫渡しの価格で付加価値税は含まない。

(2) 肉牛・牛肉産業

EU（加盟国28カ国）の牛肉生産量は、世界の牛肉生産量（約6776万トン：FAO）の約10%を占めている。EUは気候・地理・歴史的条件に応じて、多種多様な品種の牛（肉用種、乳用種、乳肉兼用種）が飼養されており、牛肉の生産構造や生産する牛のタイプ（子牛、経産牛、去勢牛、雄牛など）は、国によってかなり異なっている。EUの牛肉自給率は、2001年までは100%を超えていたが、同年のBSE問題の再燃により生産量

が消費量を下回り、2003年以降、牛肉の純輸入地域となった。その後、BSE管理の徹底とユーロ安に支えられ、輸出量は増加に転じ、2010年に純輸出地域となったが、2012年、2013年は、域内の生産減を要因に純輸入地域となった。

2013年の牛肉生産量は飼養頭数の減少を伴うと畜頭数の減少により、3年連続で減少した。牛肉の輸出量は、生産量の減少と、北アフリカ地域への輸出が牛肉から生体牛輸出に置き換わったことにより、前年から大幅に減少した。主な輸出先はロシアおよびトルコであるが、トルコへの輸出は、2010年末に緊急関税引き下げが終了し、2011年7月より75%の関税が設定されたため、牛肉から生体牛輸出へと移行した。

牛肉輸入量は、前年比8.7%減となった。これは、主な輸入先である南米およびアフリカの牛肉生産量の減少とボツワナからの輸入禁止が要因である。米国および豪州からの輸入量は、無税の高級牛肉枠を利用したものが引き続き増加した。

① 主な政策

ア 介入買い入れ

EUは、域内の牛肉価格が下落した場合、加盟国の介入機関を通じて、一定基準を満たすものを買入れ、市場から隔離することにより、価格支持を行っている。具体的には、枝肉のEU平均市場価格が2週間にわたってトン当たり1560ユーロを下回る場合、介入買い入れが行われる。

イ 民間在庫補助

EU市場で、R3（形態および脂肪のそれぞれについて中間に位置する。）に格付けされた雄牛の枝肉基本価格を100キログラム当たり222.4ユーロと定め、EU平均市場価格が枝肉基本価格の103%を下回り、それが継続する可能性がある場合、一定量を一定期間、在庫として保管する業者に対し、保管経費の補助が行われる。

ウ 直接支払い

2000年度からの介入価格の引き下げにより減少した農業所得を補償するため、繁殖雌牛奨励金などの奨励金について、単価が引き上げられたほか、2000年には新たにと畜奨励金が新設された。

なお、2003年のCAP改革により、これらの生産にリンクした直接支払いは、原則、生産とはリンクしない直接支払い（デカップリング）へと統合された。ただし、加盟国は、これらの生産と結びついた直接支払いについてもデカップリングと併せて継続することが可能となっている。

（ア）繁殖雌牛奨励金（Suckler cow premium）

繁殖雌牛を飼養する肉用牛生産者（生乳出荷量がゼロまたは生乳生産枠（クォータ）が120トン以下の生産者）に対し、2013年までの運用として、1頭当たり200ユーロの奨励金が交付される。

（イ）特別奨励金（Beef special premium）

雄牛や去勢牛を飼養する生産者に対し、生存中に2回（9カ月齢および21カ月齢（雄牛は1回のみ））まで、各農家90頭を限度として、去勢牛1頭当たり150ユーロ、雄牛1頭当たり210ユーロの奨励金が交付される。

（ウ）と畜奨励金（Slaughter premium）

牛を一定期間飼養後、と畜または域外に輸出した生産者に対し、8カ月齢以上の牛1頭当たり80ユーロ、1カ月齢超8カ月齢未満の子牛1頭当たり50ユーロの奨励金が交付される。

エ 輸出補助金

EU産牛肉の国際競争力を維持し、輸出を促進するため、輸出補助金を交付できる仕組みがある。輸出補助金の単価は、域内の市場価格と国際価格との差に基づき、品目ごと、輸出先ごとに設定される。

オ BSE関連対策

動物性たんぱく質の飼料利用の全面禁止、食肉に供される牛からの特定危険部位の除去などのBSE対策、講じられる対策の有効性を検証するための30カ月齢超の食用向けの健康な牛に対するBSEモニタリング検査などが実施されている。2009年1月1日より、検査月齢を30カ月齢超から48カ月齢超に変更することが可能となった。また、2011年7月より、ブルガリアおよびルーマニアを除く25カ国で、検査月齢が48カ月齢超から72カ月齢超に変更された。

②肉牛の生産動向

ア 牛飼養経営体数

2010年の牛飼養経営体数（乳牛飼養を含む）は257万4000戸で、2007年のEU27カ国ベースの参考データ（333万1000戸）に比べ22.7%減だが、1戸当たり飼養頭数は増加しており、大規模化が進んでいる（表14）。

牛飼養経営体数は、2010年のEU全農業経営体数（1175万6000戸）の22%を占めていることから、EU全農業経営体の約5分の1は何らかの形で牛を飼養していることになる。牛飼養経営体数の多い国は、ルーマニア（72万8000戸）、ポーランド（51万4000戸）、フランス（20万戸）、ドイツ（14万5000戸）、イタリア（12万6000戸）である。

表14 牛（乳牛を含む）飼養経営体数、飼養頭数および1戸当たりの飼養頭数の推移

（単位：千戸、千頭、頭/戸、%）

区分/年	2009	2010	2011	2012	2013	増減率
牛飼養経営体数	-	2,574	-	-	-	-
飼養頭数	89,382	87,831	87,054	87,137	87,431	0.3
1戸当たり飼養頭数	-	34.2	-	-	-	-

資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union - Market Statistical Information 2014」

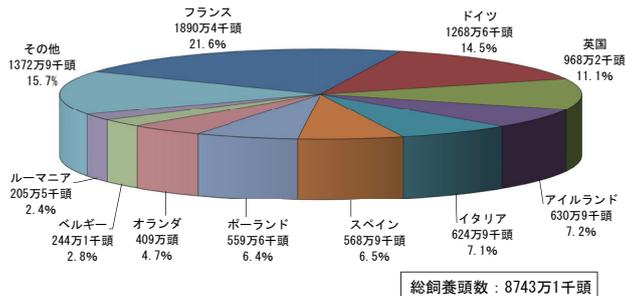
注1：飼養頭数は、12月末現在のもの。

2：EU28カ国のデータ。

イ 飼養頭数

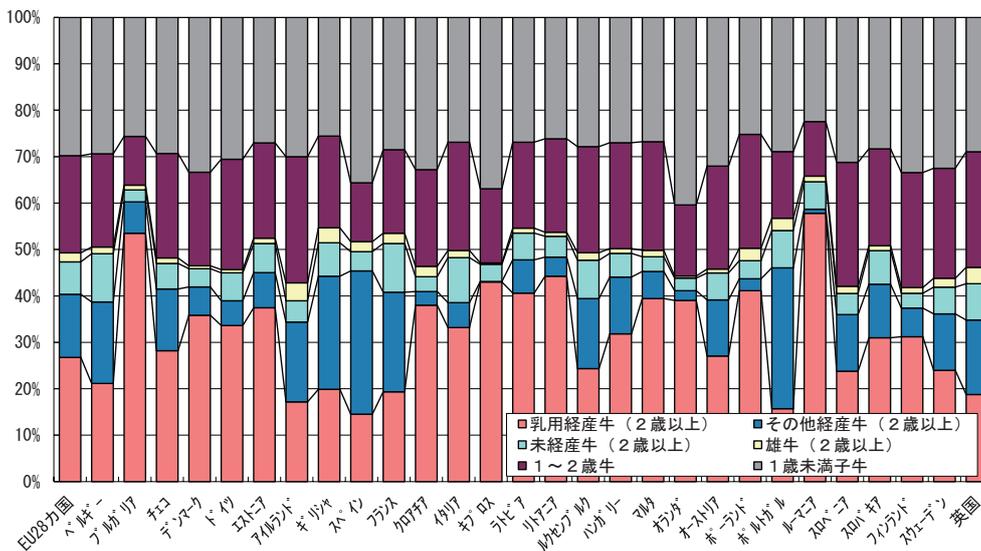
2013年12月現在の牛飼養頭数は、前年比0.3%増の8743万頭（乳牛を含む）であった（表14）。飼養頭数が多いのは、フランスの1890万頭、ドイツの1269万頭、英国の968万頭と続き、この上位3カ国でほぼ半数を占める。また、2010年の牛の1戸当たり飼養頭数は34.2頭で、2007年のEU27カ国ベースの参考データと比較して7.3頭増加している。1戸当たり飼養頭数の多い国は、キプロス（190.8頭）、ルクセンブルク（136.2頭）、チェコ（131.2頭）、オランダ（121.1頭）、英国（117.3頭）である。一方、飼養頭数の少ない国は、ルーマニアの2.7頭、ブルガリアの6.1頭、リトアニアの7.9頭となっており、加盟国間での差が大きい（図8、9）。

図8 国別牛飼養頭数（2013年12月）



資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union - Market Statistical Information 2014」

図9 国別タイプ別牛飼養割合（2013年12月）



③牛肉の需給動向

ア 牛と畜頭数および牛肉生産量

2013年の牛と畜頭数は、前年比4.2%減の2529万頭であった。国別に見ると、フランス（466万頭）、ドイツ（348万頭）、イタリア（307万頭）、英国（263万頭）、スペイン（222万頭）と続き、これら5カ国でEUの全と畜頭数の約6割を占めている。

また、2013年の牛肉生産量は同3.4%減の717万8000トン（枝肉換算）となった（表15）。

1頭当たり平均枝肉重量は、成牛で335キログラム程度、子牛は155キログラム程度で推移している（表16）。

表15 牛肉需給の推移（枝肉換算）

（単位：千トン、%）

区分/年	2009	2010	2011	2012	2013	増減率
生産量	7,779	7,813	7,759	7,433	7,178	▲3.4
輸入量	420	374	318	302	329	8.7
輸出量	117	277	356	242	192	▲20.4
消費量	8,020	8,013	7,862	7,639	7,408	▲3.0
介入在庫（12月末）	0	0	0	0	0	-
1人当たり消費量(kg)	16.0	15.9	15.7	15.2	14.6	▲4.0
自給率(%)	96.2	98.8	100.5	99.2	98.2	▲1.1

資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union - Market Statistical Information 2014」

注：輸出入量は生体牛を除く。

表 16 成牛1頭当たり平均枝肉重量

(単位：kg、%)

国/年	2009	2010	2011	2012	2013	増減率
ベルギー	436.1	425.1	393.7	412.8	440.4	6.7
ブルガリア	222.9	235.5	222.6	202.0	194.4	▲ 3.8
チェコ	294.7	299.7	308.0	336.7	345.8	2.7
デンマーク	284.8	285.2	281.4	294.5	292.0	▲ 0.9
ドイツ	331.0	335.0	344.8	354.9	365.5	3.0
エストニア	242.4	244.0	283.5	300.2	290.7	▲ 3.2
アイルランド	321.7	326.4	341.5	377.2	352.5	▲ 6.6
ギリシャ	212.2	256.5	264.7	265.6	311.6	17.3
スペイン	274.3	283.9	323.9	338.1	347.0	2.6
フランス	368.5	371.6	360.9	381.7	404.5	6.0
クロアチア	-	308.9	294.3	337.4	340.0	0.8
イタリア	315.2	319.9	342.0	351.5	407.7	16.0
キプロス	296.5	312.1	272.8	248.0	281.2	13.4
ラトビア	216.6	213.2	220.1	235.1	248.8	5.8
リトアニア	247.6	250.2	258.4	268.6	296.3	10.3
ルクセンブルグ	363.3	368.5	398.3	418.2	441.4	5.5
ハンガリー	267.3	263.9	273.4	293.6	317.7	8.2
マルタ	259.1	256.0	337.9	345.5	347.9	0.7
オランダ	305.9	309.1	314.5	325.7	330.8	1.6
オーストリア	348.0	347.3	353.2	356.0	348.2	▲ 2.2
ポーランド	276.8	285.8	282.1	289.9	320.9	10.7
ポルトガル	271.7	268.6	271.7	285.6	316.1	10.7
ルーマニア	226.3	229.6	258.1	254.3	248.2	▲ 2.4
スロベニア	327.7	331.6	329.4	350.3	360.1	2.8
スロバキア	271.1	272.2	324.5	379.5	394.8	4.0
フィンランド	305.0	311.9	308.2	312.0	309.6	▲ 0.8
スウェーデン	314.4	314.6	311.3	341.7	342.1	0.1
英国	336.2	341.8	334.4	354.8	363.4	2.4
EU 28 各国	324.0	332.7	337.5	336.8	-	-

資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union - Market Statistical Information 2014」

イ 輸入および輸出

輸入は、ガット・ウルグアイラウンド合意に基づき、さまざまな関税割当や近隣国との特惠制度が設けられている。2013年のEU域外からの輸入量は前年比8.7%減の32万9000トン（枝肉換算）となった。主な輸入先は、ブラジル、アルゼンチンなどである。

輸出は、2001年のBSE問題の再燃や2002年2月の口蹄疫（FMD）の発生により、一時的にEU産牛肉の禁輸措置が講じられたことで減少傾向となっていた。2010年に増加に転じたが、2013年は、トルコや北アフリカ地域への輸出が生体に転換されたことで19万2000トン（枝肉換算、前年比20.4%減）と前年から大幅に減少した。

ウ 消費

消費量は、域内生産量の減少による価格の上昇などから、2008年以降、減少傾向となり、2013年は740万8000トン（前年比3.0%減）となった。

1人当たり年間牛肉消費量については、EUが27カ国体制となった2007年以降、大きな変動はないものの、減少傾向が続いており、2013年は14.6キログラム（前年比4.0%減）となった。

エ 介入在庫

BSE問題の再燃による牛肉価格の落ち込みに対応した結果、2001年末に22万2000トンに達した。しかし、消費の回復により、その後の在庫は減少し、2004年以降ゼロとなっている。

④肉牛・牛肉の価格動向

ア 枝肉卸売価格

2013年の枝肉卸売価格は、域内生産量は減少となるも輸出が伸びず、去勢牛で同7.0%高となったものの雄牛で前年比1.0%安となった（表17）。

表 17 牛枝肉卸売価格の推移

(単位：ユーロ/100kg、%)

年/区分	牛枝肉卸売価格			
	雄牛		去勢牛	
	価格	変動率	価格	変動率
2009	316.4	▲ 1.9	308.6	▲ 6.0
2010	319.8	1.1	311.1	0.8
2011	350.7	9.7	352.3	13.3
2012	381.6	8.8	408.3	15.9
2013	377.9	▲ 1.0	437.0	7.0

資料：欧州委員会「CIRCABC」

(3) 養豚・豚肉産業

2013年のEUの豚肉生産量は2201万2000トン（前年比0.1%減）と、世界の豚肉生産量（約1億1452万トン：FAO）の約2割を占めている。EUは、豚肉自給率が111.0%の純輸出地域である。中でも、わが国の主要な豚肉輸入元であるデンマークは、EU全体の輸出量の約2割を占める。EUでは、加盟国間で差があるものの、食肉消費量に占める割合は豚肉が最も大きい。

① 主な政策

ア 民間在庫補助

EUは、域内の豚肉価格が低迷した場合、特定のものを一定期間、在庫として保管する業者に対し、保管経費を補助する。2011年は、1月にドイツで豚用飼料へのダイオキシン混入が発覚したことを受け、同年2月1日から22日まで民間在庫補助が発動した。この結果、ドイツ(約4万1000トン)、スペイン(約2万8000トン)、オランダ(約1万4000トン)などEU全体で14万トン強の在庫が市場から隔離された。

2012年および2013年は価格が堅調に推移したことから、民間在庫補助の発動はなかった。

イ 輸出補助金

EUは、EU産豚肉および加工品の国際競争力を高め、輸出を促進するため、輸出補助金を交付できる仕組みがある。輸出補助金の単価は、域内の市場価格と国際価格との差に基づき、品目ごと、輸出先ごとに設定する。なお、2008年8月以降の発動はない。

② 肉豚の生産動向

ア 養豚経営体数

2010年のEU28カ国の養豚経営体数は、275万5000戸と2007年(351万8000戸)と比較して21.7%減少した(表18)。新規加盟国を中心に、2008年の豚肉価格の低迷と飼料および燃料価格の高騰を受け、小規模農家の廃業が進んだためとみられる。なお、全農業経営体数(1201万戸、2010年)に占める養豚経営体数の割合は23%である。国別では、ルーマニア(165万6000戸)、ポーランド(38万8000戸)、ハンガリー(18万3000戸)、ブルガリア(8万2000戸)、スペイン(7万戸)が上位となっている。

表18 養豚経営体数、飼養頭数および1戸当たり飼養頭数の推移

(単位：千戸、千頭、頭、%)

区分/年	2009	2010	2011	2012	2013	増減率
養豚経営体数	-	2,755	-	-	-	-
飼養頭数	151,530	152,361	149,809	147,010	146,129	▲0.6
1戸当たり飼養頭数	-	55.1	-	-	-	-

資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union - Market Statistical Information 2014」

注1：飼養頭数は、12月末現在のもの。

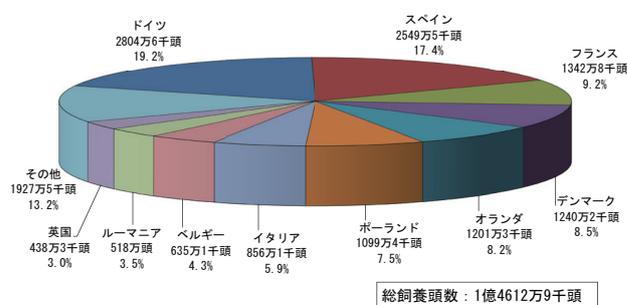
2：EU28カ国のデータ。

イ 飼養頭数

2013年12月現在の豚飼養頭数は、1億4613万頭(前年比0.6%減)となった(図10)。

直近の公表数値となる2010年の1戸当たり飼養頭数を見ると、EU平均で55.1頭と2007年の44.3頭から10.9頭増加している。国別では、デンマーク2598.2頭、オランダ1743.2頭、アイルランド1253.1頭と、1000頭を超える国もある一方、ルーマニア3.2頭、ブルガリア8.1頭と、加盟国間で大きな差がみられる。

図10 国別豚飼養頭数(2013年12月)



資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union - Market Statistical Information 2014」

③ 豚肉の需給動向

ア と畜頭数と豚肉生産量

2013年の豚と畜頭数は2億4654万頭(前年比0.3%減)となり、豚肉生産量は2201万2000トン(同0.1%減、枝肉ベース)となった(表19)。また、1頭当たり平均枝肉重量は、89キログラム程度で推移している(表20)。

表 19 豚肉需給の推移（枝肉ベース）

(単位：千戸、千頭、頭、%)

区分/年	2009	2010	2011	2012	2013	増減率
生産量	21,567	22,209	22,503	22,026	22,012	▲0.1
輸入量	34	22	15	16	15	▲5.3
輸出量	1,540	1,839	2,175	2,182	2,177	▲0.2
消費量	19,943	20,316	20,278	19,824	19,827	0.0
1人当たり消費量(kg)	40.0	40.8	40.7	39.7	-	-
自給率(%)	108.1	109.3	111.0	111.1	111.0	▲0.1

資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union - Market Statistical Information 2014」

注：生産量は加工等に伴う損耗を考慮した数値。

表 20 豚1頭当たり平均枝肉重量

(単位：kg、%)

国/年	2009	2010	2011	2012	2013	増減率
ベルギー	96.9	94.5	94.2	94.9	94.9	0.0
ブルガリア	69.7	68.5	67.0	66.0	65.3	▲1.1
チェコ	87.8	88.6	88.2	88.2	88.3	0.1
デンマーク	82.0	82.8	82.3	82.4	83.2	0.9
ドイツ	93.5	93.6	93.9	93.8	93.4	▲0.5
エストニア	79.6	78.3	78.7	78.2	79.5	-
アイルランド	80.9	80.6	80.5	81.2	82.4	1.4
ギリシャ	62.6	62.1	62.9	64.1	64.7	0.9
スペイン	82.0	82.5	83.1	83.3	82.8	▲0.6
フランス	80.5	80.6	80.6	81.1	81.6	0.6
クロアチア	-	74.2	70.4	70.8	72.4	2.1
イタリア	125.1	126.5	127.2	128.0	124.1	▲3.0
キプロス	80.5	77.7	77.7	79.4	79.9	0.6
ラトビア	76.4	73.9	75.0	74.2	76.2	2.7
リトアニア	76.6	78.0	78.3	78.3	78.1	▲0.3
ルクセンブルグ	71.7	70.7	72.3	74.8	73.7	▲1.5
ハンガリー	90.4	90.3	90.3	90.2	89.8	▲0.4
マルタ	81.8	88.1	87.4	82.5	83.1	0.7
オランダ	92.3	92.4	92.3	93.0	93.3	0.3
オーストリア	96.3	95.2	97.1	97.5	97.5	0.0
ポーランド	86.1	87.2	86.3	88.2	88.1	▲0.1
ポルトガル	63.2	64.5	65.2	65.6	66.8	1.9
ルーマニア	76.9	80.7	80.9	81.2	82.2	1.2
スロベニア	82.7	86.1	83.8	83.3	83.2	▲0.1
スロバキア	90.4	90.5	88.7	89.6	91.3	1.9
フィンランド	87.8	90.3	89.0	90.0	90.7	0.8
スウェーデン	88.2	89.7	90.0	90.1	91.8	1.9
英国	79.8	80.2	80.1	80.1	80.9	1.0
EU 28 各国	88.3	88.8	88.6	89.0	-	-

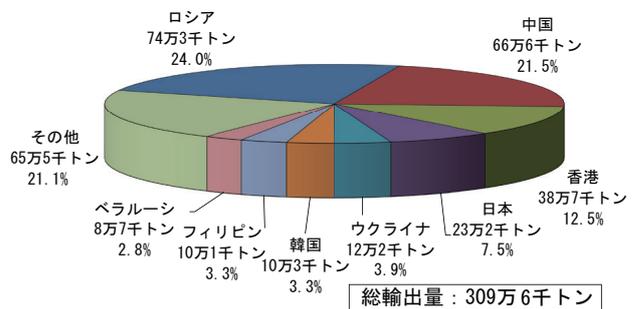
資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union - Market Statistical Information 2014」

イ 輸入および輸出

2013年のEU域外からの輸入量（枝肉ベース）は、1万5000トン（前年比5.3%減）となった。

一方、同年のEU域外への輸出量（同）は217万7000トン（同0.2%減）となった。減少の要因は、生産量の減少分がそのまま輸出量に影響したためとみられている。EUの豚肉輸出の4分の1近くを占めるロシア向けは前年並み、中国向けは同13.6%増と増加した。なお、日本向けは前年並みとなった。（表19、図11）。

図 11 豚肉の輸出先国（2013年）



資料：デンマーク農業理事会「Statistics 2014 Pigmeat」

ウ 消費

2013年の消費量は1982万7000トン（前年比0.2%減）となった（表19）。

④豚肉の価格動向（豚肉の市場価格）

豚枝肉市場価格は、加盟国の代表的な市場の加重平均価格をベースとして算出される。

2013年は、生産量がわずかに減少したことにより、100キログラム当たり175.48ユーロ（前年比2.8%高）と3年連続で前年を上回った（表21）。

表 21 豚枝肉市場価格の推移

(単位：ユーロ/100kg、%)

国/年	2009	2010	2011	2012	2013	増減率
ベルギー	133.24	130.25	141.29	160.51	158.44	▲ 1.3
ブルガリア	174.52	163.53	168.72	186.10	202.48	8.8
デンマーク	122.87	126.31	138.92	158.66	159.51	0.5
ドイツ	146.03	144.37	155.73	173.84	173.97	0.1
エストニア	149.80	142.53	156.30	169.87	173.67	2.2
フィンランド	144.74	141.67	149.86	166.09	178.07	7.2
フランス	131.07	129.91	146.57	161.11	163.56	1.5
ギリシャ	172.98	160.87	172.54	190.69	198.93	4.3
アイルランド	131.60	130.63	142.79	158.10	166.15	5.1
イタリア	151.93	150.23	172.69	186.63	189.04	1.3
クロアチア	-	-	-	-	178.13	-
ラトビア	155.29	143.36	161.80	181.60	183.99	1.3
リトアニア	156.78	145.37	153.98	174.73	177.51	1.6
ルクセンブルグ	147.32	146.21	156.74	174.63	170.99	▲ 2.1
マルタ	182.00	182.00	181.36	198.42	237.00	19.4
オランダ	130.40	128.79	140.78	157.07	157.13	0.0
オーストリア	138.39	137.79	151.21	170.57	172.18	0.9
ポーランド	143.69	134.91	151.46	174.62	173.83	▲ 0.5
ポルトガル	151.96	153.21	161.32	174.91	181.33	3.7
ルーマニア	158.13	153.41	158.64	176.79	185.42	4.9
スウェーデン	137.84	145.76	148.40	169.71	189.38	11.6
スロバキア	153.36	145.77	158.78	178.73	178.98	0.1
スロベニア	137.78	136.85	151.03	168.38	169.62	0.7
スペイン	145.17	145.70	159.75	173.73	193.28	11.3
チェコ	149.96	142.09	156.22	177.38	173.19	▲ 2.4
ハンガリー	149.46	141.21	154.07	173.52	174.22	0.4
英国	159.42	160.42	161.96	180.63	189.83	5.1
キプロス	153.02	161.93	169.77	197.67	201.86	2.1
EU 27 カ国 / EU 28 カ国	142.22	140.24	153.19	170.62	175.48	2.8

資料：AM I 「Markt Bilanz Vieh und Fleisch 2015」

注：2009年から2012年まではEU27カ国。2013年はEU28カ国。